

## 令和5年度 学カスタンダード指導計画・報告書

教科：（数学）科目：（数学Ⅰ）対象：（第1学年 A組～E組）

教科担当者：（A組：荒木 ㊟、木村 ㊟）（B組：木村 ㊟、荒木 ㊟）（C組：木村 ㊟、荒木 ㊟）  
（D組：木村 ㊟、小林雅 ㊟）（E組：小林雅 ㊟、木村 ㊟）

教科・科目の 指導目標	数と式，図形と計量，二次関数及びデータの分析について理解し，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り， 事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにする。
----------------	---

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	<p>&lt;高校入試&gt;</p> <p>1. 一次関数とそのグラフの基本的な関係の理解が25%と割合低い。2次関数については無回答の者が散見される。</p> <p>2. 空間図形・平面図形などの問題で、何を問われているかを十分に理解できない生徒がいる。数学力のみならず国語力も必要なことである。</p>	<p>1. 年間指導計画の工夫 基礎・基本を重視し、既習関連事項、学習目標を明確にし、授業で徹底する内容を担当者間で共有する。</p> <p>2. 習熟度別授業の充実 担当者間の連絡調整を密に行い、学期末考査ごとにその成績（中間＋期末）に基づいて、クラス編成替えを行う。</p> <p>3. 問題集ノートの定期的な提出 年度初めに学習方法の説明と併せて年間計画を提示し、担当者間による確認・添削指導を行う。</p>	<p>教科会において、下記の指導方針を確認</p> <p>1. 夏休み課題の実施 一学期の学習内容を、基礎から発展までの内容で解答も付属させ自学自習の習慣を養う。二学期当初に課題テストを行い、達成感を持たせる。</p> <p>2. 放課後質問教室の実施 個別の質問対応、定期考査不振者への指導を数学科で協力して行う。</p>

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			